

SIST ご利用者の皆様

## SIST(科学技術情報流通技術基準)事業の終了について

科学技術会議(当時)提言の「科学技術情報の全国的流通システム(NIST)」構想に始まるSISTの制定・普及活動は1973年(昭和48年)に開始され、既に38年が経過しました。SISTでは、紙媒体の学術雑誌と論文の流通に必要とされる一通りの基準の制定を終え、また、紙媒体から電子ジャーナルへという近年の動向に対応する改訂も終わっています。

今年度は当機構の第2期中期計画(2007-2011年度)の最終年度にあたります。この中期計画ではSIST事業をその運用と普及の面から取り上げてセミナー等の開催を実施して参りました。

最終年度にあたり、今後のSIST事業の展開を次期中期計画策定の中で検討いたしました結果、学術雑誌・論文についての基準(SIST 07 / SIST 08)についての今日の電子化状況を踏まえた2010年3月の改訂を区切りとし、今中期計画末(2012年3月)で本事業を終了することといたしました。

SISTは、主に国際標準であるISO規格をもとに国内基準を制定し、これまでに図書館関係及び学協会、更には論文等の執筆者の方々を中心に活用され、その意義を認められ、成果を上げてきました。

この間、200名を超える委員会や分科会での委員の皆様のご協力をいただきましたことに、ここにあらためて御礼申し上げます。

インターネットとデジタル化に象徴される現在、標準化はこれを必要とするステークホルダー自身つまり、研究コミュニティや関連業界が積極的に関与する形で進んでいます。例えば、メタデータのあり方等についても関係コミュニティ等で協議会が立ち上がっています。

当機構は今後、こうした標準化の流れの中でステークホルダーの一機関として情報事業を通じ、例えば、DOI、XML、研究者ID等について必要な基準策定に関与し、その成果の普及に努めて行く予定です。

なお、SIST事業は終了いたしますが、SISTウェブサイトはQ&A等を拡充し、来年度以降も公開を継続しますので、SIST成果物は今後もお利用いただけますことをご知らせいたします。

皆様のごこれまでのSIST事業へのご協力に対し、深く感謝申し上げます。

2011年12月21日  
独立行政法人科学技術振興機構  
イノベーション推進本部  
本部長(情報事業担当) 門田博文